

うじたわら議会だより



令和5年度の施策を検証(決算特集).....P2～P7

町政を問う (一般質問)
インタビュー (広田華さん)

P11～P16
P18

No. 121

2024.11.1

＝ボードゲームデー＝
日本人と外国人が
ボードゲームを通じて交流

令和5年度
決算

一般会計

実質単年度収支は 3年ぶりに2,678万円の赤字

令和6年第3回定例会開催

令和6年第3回定例会を9月3日から9月27日まで開催した。報告事項3件（専決処分）、予算関係2件（補正）、条例関係4件（改正）、決算関係6件（詳細はp4～p7に掲載）、人事関係3件（固定資産評価審査委員の選任）について提案があった。また一般議案（財産取得の追認2件）について追加提案され、いずれも原案どおり可決・認定・同意した。議員提出の意見書1件についても可決した。一般質問には10人の議員が立ち、活発な議論を展開した。

令和5年度決算の概要

令和5年度一般会計決算額は歳入総額54億1,936万円、歳出総額は52億3,574万円となり、前年度に比べ歳入は2億4,370万円、歳出は2億4,331万円といずれも減少した。
実質収支は1億3,973万円の黒字となったが、実質単年度収支は、3年ぶりに2,678万円の赤字となった。
今後も扶助費・宇治田原山手線他的大型投資的事業に伴う公債費などの増加が想定され、財政基盤安定のため、今後も引き続き、行財政改革の取り組みを強化するよう求めた。

ふるさと納税推進事業費
1億779万円

高規格救急自動車更新事業費
3,410万円

宇治田原山手線整備事業費
1億711万円

新市街地都市公園整備事業費(繰越)
3,037万円

令和5年度各会計の決算一覧

会計名		歳入	歳出	歳入歳出差引額	
一般会計		54億1,936万円	52億3,573万円	1億8,362万円	
特別会計	国民健康保険	10億2,563万円	10億704万円	1,859万円	
	後期高齢者医療	1億6,130万円	1億5,524万円	606万円	
	介護保険	保険事業勘定	8億5,783万円	8億2,694万円	3,088万円
		サービス事業勘定	525万円	402万円	122万円
	水道事業会計(税込み)	収益的	2億8,265万円	2億8,308万円	△43万円
	資本的	7,508万円	1億566万円	△3,058万円	
下水道事業会計(税込み)	収益的	4億1,714万円	4億513万円	1,201万円	
	資本的	4億767万円	4億9,992万円	△9,225万円	

令和5年度一般会計内訳

歳入

歳出

*端数整理上、歳入歳出差引は一致しません。(千円以下切捨て)

*端数整理上、合計額と一致しません。(千円以下切捨て)

2

3

決算特別委員会

決算特別委員会は、監査委員を除く10名で設置し、委員長に原田周一議員、副委員長に上野雅央議員を選出し審査を行い、6議案すべてを原案どおり認定した。

決算特別委員会では、9月18日、19日、令和5年度一般会計、国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険の特別会計、水道事業および下水道事業の会計各決算の個別審査を行った。

9月20日、宇治田原山手線整備事業費（緑苑坂以北）、高規格救急自動車更新事業費の2カ所の現地審査を実施した。

また、9月24日、総括審査の後、それぞれの議案について、討論・採決を行った。

（ここでは主な質疑と本会議での討論を掲載します）

ここが聞きたい（総括質疑）

道づくりからのシフトで人口増を図るべきでは（今西利行委員）

問 民間の「人口戦略会議」が本町を「消滅可能性自治体」に加えた。本町は少子化が進む中、将来人口を6年後の2030年に8,679人とする目標を示しているが、本年9月の人口は8,707人であり目標の達成を見通すことはできない。今後のまちづくりの一丁目一番地を「道づくり」から「子育て支援の充実」「移住定住対策」にシフトし、人口増を図るべきでは。

答 住民の皆さまの生命と暮らしを守るために、リーダーとして責任を持ってまちづくりに取り組んでいかなければならない。防災拠点となる新庁舎および宇治田原中央公園、そしてリダンダンシー効果を持つ山手線、これら全ては住民の皆さまの生命と暮らしを守るものである。今後も災害に強いまちづくりに取り組んで行くことが私の使命と考える。それと同時に、子育て支援、移住定住などの課題にしっかりと向き合いながら、ハード面、ソフト面の両面から取り組んでいきたい。

住民体育館周辺の施設改修を先行しては（馬場 哉委員）

問 本町の財政運営は、新名神高速道路の全線開通が延期され、企業進出による税収増などその効果が表れる時期が見通せない状況である。リダンダンシー効果のある、宇治田原山手線の整備を京都府に急いでもらうことは非常に重要だが、向こう5年間で約5億円の事業費を見込んでいる工業団地線は、事業実施時期を延長し毎年の財政負担を軽くした上で、住民体育館周辺の施設改修を先行した方がよいのでは。

答 本町の工業団地の地価は、工業用地として府内トップの18.2%の上昇率となった。この結果は、新名神開通に対する期待感から、本町が交通の要衝として高い評価を得ている表れである。この機を逸することなく山手線の整備を進める必要があるが、住民体育館や教育施設など、公共施設の老朽化に伴う維持・管理コストの増大は大きな課題となっていることから、人口減少社会を前提に限りある財源の中で投資の優先度を適切に見極めていく必要がある。

もっと聞きたい（個別審査）

一般会計 （議案第50号）

防災備品の整備や充実は

問 災害時避難所物資整備事業費について、避難所の生活物資をはじめ防災備品の整備や充実は、住民が安心して暮らすために必要だが、どのような趣旨や内容で予算執行されたのか。

答 災害時には、自助、共助による物資の確保を基本として、町はそれを補完するために、生命、健康維持の観点から重点備蓄物資の整備を計画的に実施している。令和5年度は、これまでから計画的に配備している各避難所ならびに宇治田原中央公園の防災倉庫において、α米800個、飲料水約800本を更新した。また、宇治田原中央公園の防災倉庫には、シェルター用防災テントのセット、かまどベンチ用寸胴鍋、蓄電機などを整備した。



決算特別委員会

子育て応援アプリ「母子モ」の活用状況は

問 「パパママハッピープロジェクト」子育て家庭応援事業費について、1年間通して開設されている各種講座への参加申し込み、子育て応援アプリ「母子モ」は活用されているのか。

答 アプリ内のイベント掲載は毎月1日に更新され、子育て支援センターの全ての事業、講座の申し込みが可能である。参加者の約半数が「母子モ」から申し込みされている。

育児担当制保育の実施に向けた研修の成果は

問 保育所心を育む茶レンジャー育成事業費について、育児担当制保育の実施に向け、会計年度任用職員を含む保育所全職員に研修機会を設けたということだが、具体的にスキル面、メンタル面でどのような目的で実施され、どのような成果があり、研修内容を日々の保育にどのように生かしているのか。

答 育児担当制保育は、特定の保育士が特定の児童を継続的に担当する保育の方法で、現在、0歳、1歳、2歳の乳幼児を対象に実施している。研修は、子どもを待たせない具体的な動きや援助方法を学ぶために実施し、保育士のスキルアップを図った。4月当初は、母子分離が難しかった子どもたちも、担当制保育によって保育士への愛着が生まれ、不安定な様子も次第になくなり安心して活動する姿も見られるようになった。乳児期の情緒の安定が、後の幼児期に主体的に考え行動する力の育ちにつながるよう、愛情をもって一人一人の子ども達を丁寧に育てることを実践している。

地域応援定期券および一日乗放題券の販売状況の受け止めは

問 新しい地域公共交通運行事業費について、地域応援定期券および一日乗り放題券の販売件数の状況をどのように受け止めているか。

答 令和4年度と比較して、一日乗り放題券は3倍程度、地域応援定期券は1.2倍程度、販売件数が増えており、はとバス、はとタクシー（写真下）の利用促進に徐々に繋がっている。また、地域応援定期券の販売を応援しようという方の広がりを感じる。



地域おこし協力隊の活動状況は

問 地域おこし協力隊事業費について、地域おこし協力隊は町の観光交流拠点である宗円交遊庵やんたんの運営支援のほか、どのような活動をしているのか。

答 令和5年度は、Instagramで町の魅力を発信するとともに、令和4年度に引き続き、地域資源を活用した取組みとして荒廃茶園の茶の実を使った美容オイルの製造と販売を行った。新たな取り組みとしては、西ノ山展望広場でのクリスマスイルミネーションと、永谷宗円生家を会場に行灯ライトアップと焙炉での製茶体験事業を実施した。

休日部活動における地域移行の検証結果は

問 地域部活動推進事業費について、昨年11月からバレーボール部の休日部活動における地域移行が始まったが、取り組みに関する現時点での検証結果は。また、地域移行が始まっていないテニス部や陸上部など他の部活動顧問は、どの程度休日指導を望んでいるのか。

答 効果としては、休日の部活指導時間が減少し教職員の負担軽減が図れた。一方で、生徒への専門的な指導を継続するための地域人材の確保や、1町1中学で他市町への移動も容易でないため合同部活動が困難なこと、休日部活動を全面的に地域移行した場合の受益者負担などが課題である。また、中学校の部活動顧問を対象に以前実施したアンケートでは、56.3%の教職員が地域移行を望んでおり、今後も適任者がおられた場合は、地域移行を進めていきたい。

反対討論

子育て支援の拡充で、人口増を 今西利行議員

本町の財政環境が厳しくなったのは、大型投資的事業に多くの予算をつぎ込んできた結果である。今後のまちづくりについては、一丁目一番地の施策を「道づくり」から、「子育て支援、移住定住対策」にシフトし、人口増をはかるべきである。給食費の無料化、高校通学バス代補助の拡充を求める。住民の暮らしや営業が厳しいときだからこそ、町が住民の命と暮らし、なりわいを守る役割を発揮すべきである。

賛成討論

ひとづくりに重点をおきシビックプライドを醸成 榎木憲法議員

キャッチフレーズの一つ「ひとづくり」に重点をおき、ふるさと納税を財源に子どもたちの夢を応援する仕組みを多岐にわたりPROJECTを展開され大きな成果を挙げた。また、子育て支援に関しては、医療費助成事業の対象を中学生から高校生世代まで拡大し、保護者の負担軽減が図られた。財政面では監査委員から「本町の財政状況は、財政健全化判断指標を見る限り、健全性が確保されている」との報告があり、以上の事から賛成する。

国民健康保険特別会計 (議案第51号)

特定健康診査の受診率向上のための工夫は

問 特定健康診査等実施事業費について、国保被保険者の健康維持・改善を図るため、住民に広く知らせるとともに受診してもらうための工夫が必要だが、これまで健康づくりに無関心であった層を含めて住民のニーズや課題を捉えたアプローチにどのように取り組まれたのか。

答 本町の国保特定健診に関してはレセプトなどから得たデータをもとに対象者を階層別に分け、受診行動を促す勧奨媒体を、時期をずらして個別に通知している。これらにより本町の特定健診の受診率は44.5%となっており、全国および府平均を上回っている。引き続き昨年度に策定した第4期特定健康診査等実施計画に定めている健診受診率50%に向けた取り組みを進めていきたい。

反対討論

安心して医療を受けられるように 山本 精議員

高齢者の医療費に対する国庫負担は、保険制度が始まった1983年度には約45%であったが、今では33%前後となっている。高齢者に負担増を押しつけ、安心して医療を受けることができないような医療制度に反対である。

水道事業会計 (議案第54号)

湯屋谷地区配水管入れ替えの進捗状況は

問 湯屋谷配水管更新事業費について、湯屋谷地区の配水管の入れ替えは、現在何%済んでいるのか。また、あと約何年かかる見込みか。

答 湯屋谷地区の配水管などの延長は4.3kmで、その内2.3kmは既に耐震管への更新が終わっており、耐震適合率は約53%である。本町の水道事業の規模から年間約200mの延長を設計して工事を進めており、更新完了まで今後10年ほどを見込んでいる。

下水道事業会計 (議案第55号)

下水道事業の広域化は

問 下水道事業全般について、町内全体の下水道計画は、今後進めていくとされる広域化によってどのように変わっていくのか。

答 今回の条例改正案に上げている湯屋谷地域では、これまで地元住民の皆さまに説明し、ご理解をいただく中で公共下水道から浄化槽への見直しを進めており、今後これに基づいて下水道計画の見直しを行う。また、広域化については、現在府と協議しており、まずは流域下水道への編入にあたり、構成市町の理解を得る必要があることから、府で部会を設置いただき検討を進めていただいている。町としても編入にどれくらいの費用を要するか、それが得策かどうかの判断も必要になってくることから、検討部会で協議が行われる中で、府とも調整を図りながら進めていきたいと考えている。

決算監査意見書（要旨）

令和5年度各会計の決算については、予算現額、収入済額、支出済額、関係帳簿、証書類など、その内容を審査した結果、計数的に正確であり予算執行の成果など各会計とも良好である。基金の運用状況も調書の計数は正確で、确实かつ効率的と認められる。

現地調査についても、事業執行は適正であると認められる。

但し、本町を取り巻く環境は、人口減少、少子・高齢化などにより、厳しい状況が続くと予想されるところであり、今後も中長期的な視野に立ち、デジタル技術の活用による業務の効率化を図るとともに、住民の福祉の増進に努め、最小の経費で最大の効果を上げる町政運営を常に意識することを要望し、監査の意見とする。

監査委員

再審法改正に向けた速やかな議論を求める意見書（要旨）

我が国では憲法において多数の刑事手続関連条項を設け、刑事訴訟法等の法律を充実させることによって、えん罪の発生を防止しようとしてきた。しかしながら、人の運用する制度である以上、ときに誤判が生じるおそれは払拭できず、誤判により生じたえん罪被害者は迅速に救済されなければならない。特に重要な課題として、①再審請求手続において証拠開示規定が存在しないこと、②再審開始決定に対する検察官の不服申立てにより審理が極めて長期化していること、③再審請求手続における手続規定が整備されておらず、請求人の手続保障が十分になされていないことの3点が挙げられている。

国におかれては、えん罪被害者を迅速に救済するため、再審法改正に向けた議論を速やかに行うよう強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和6年9月27日

宇治田原町議会

賛成討論

直ちに法改正を

山本 精議員

再審法の不備のために、「袴田事件」では、事件発生から実に約57年もの年月を要し、静岡地裁で再審無罪判決を言い渡された。えん罪被害者とその親族の多くが高齢化している現状に照らせば、直ちに法改正を実現すべき。



現地審査の様子

人事案件

固定資産評価審査委員会の委員の選任同意



おおきたやすひと
大北康人氏（岩山）



やのよしみ
矢野芳巳氏（南）



ふじたあきまさ
藤田明正氏（禅定寺）

任期

令和6年10月13日～
令和9年10月12日

総務建設常任委員会

9月11日、付託議案2件を審査した。また、まちづくり推進課より所管事項報告があった。

宇治田原町税条例の一部改正（議案第47号）

公益信託の見直しに伴い所得税法の規定が見直されることにより条例の一部を改正する

宇治田原町水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正（議案第49号）

浄化槽整備推進事業の事業区域を追加する

〈報告事項〉

まちづくり推進課

- ・新名神高速道路建設事業の進捗について

文教厚生常任委員会

9月12日、付託議案1件を審査し、学校教育課より所管事項報告があった。主な質疑は次の通り。

宇治田原町国民健康保険条例の一部改正（議案第48号）

法律改正に伴い条例の一部を改正する

マイナ保険証の移行対応は

問 滞納者に対するマイナ保険証の移行後の対応はどうなるのか。

答 移行後の滞納者への対応は、国においてスキームが整理されているところである。これを踏まえ検討を進める。

反対討論

保険証の廃止に反対

山本 精議員

保険税を滞納している被保険者から保険証を取り上げること自体に反対であり、今回の返還に応じないものに対する過料などの規定を削除するという点は可とするが、マイナンバー法による保険証の廃止には反対である。

〈報告事項〉

学校教育課

- ・令和6年度いじめ調査結果

予算特別委員会

一般会計補正予算

（議案第44号）

支給対象者が増加した原因は

問 物価高騰対応調整給付金支給事業費について、当初予算より支給対象が増加するとのことであるが、当初予算の試算時に体系的な不備があったのか、あるいは他に要因があったのか。

答 当初予算計上時には対象外であった住宅取得控除を受けている者などが、支給の対象に該当するようになったため、対象者が増加した。

反対討論

新型コロナワクチン接種などに問題あり

森山高広議員

頻発する政治家の不祥事は忘れ去られ、米不足すら起こる劣化と衰退のこの時代、予防接種健康被害救済制度の資料では、昔なら中止になるようなコロナワクチン被害者数や死亡者数がでている。他国では大規模統計調査が行われ、コロナワクチンには有益な効果はなく、死亡率増加や脳卒中や血栓の発生に繋がっていると報道されている。一方、国内では同様の調査もなく、メリットとデメリットの比較すらできない。国の事業でも、住民の命と健康を守るため反対する。

反対討論

もっと厳しい措置を

山本 精議員

物価高騰や各種予防接種等対策、児童手当支給事業費、野猿に発信機を取り付けるための予算なども計上されておりますが、入札不正事件に関し、自戒措置分としての特別職の給料の減額については、もっと厳しい措置が必要である。

宇治田原町長等の給料の額の特例に関する条例の一部改正（議案第46号）

元職員の再逮捕に伴う自戒措置として、給料を町長15%、副町長10%、1か月間減額する

自戒措置が不十分では

問 元職員が再逮捕され、その後有罪判決が確定したが、町長の任命責任、管理監督責任は大変重く、今回の措置は不十分ではないか。

答 入札等監視委員会で二度と不正事案が起きないように入札制度の見直しやコンプライアンスの徹底、職員研修などに取り組んできた。自戒処分は、前回も含め私が自身で考えた。町政始まって以来のこの汚点を、一生背負う覚悟を持ち、未来に希望と責任を持てるまちづくりに誠心誠意取り組んでいく。

反対討論

重大な責任に見合っていない

今西利行議員

元職員が再度有罪となった事件について、町長の任命および監督責任は重大である。今回の減額は、その責任に見合っていない。「一生背負っていく覚悟」があるなら、少なくとも残る任期中に50%以上の削減をすべきである。

議決のあらましと表決結果

[○賛成・●反対・▲退席・―欠席・△除斥]

種別	議案番号	議案名と内容	賛成討論	反対討論	結果	山内	榎木	馬場	森山	山本	宇佐美	藤本	今西	上野	原田
意見書	意見書第1号	再審法改正に向けた速やかな議論を求める意見書（案）について	✓		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人事	議案第56号	宇治田原町固定資産評価審査委員会委員の選任について（大北康人氏の選任）			同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第57号	宇治田原町固定資産評価審査委員会委員の選任について（矢野芳巳氏の選任）			同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第58号	宇治田原町固定資産評価審査委員会委員の選任について（藤田明正氏の選任）			同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
予算	議案第44号	令和6年度宇治田原町一般会計補正予算（第1号）（児童手当支給事業費や各種予防接種等対策事業費などの追加）【7,645万9千円の追加】	✓		可決	○	○	○	●	●	○	○	●	―	○
	議案第45号	令和6年度宇治田原町介護保険特別会計補正予算（第1号）（過年度分国府等支出金返還金の追加）【608万円の追加】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	―	○
条例改正	議案第46号	宇治田原町長等の給料の額の特例に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて（元職員の再逮捕に伴う自戒措置として、給料を町長15%、副町長10%、1か月間減額するもの）	✓		可決	○	○	○	○	●	○	○	●	―	○
	議案第47号	宇治田原町税条例の一部を改正する条例を制定するについて（地方税法等の改正に伴う条例の一部改正）			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第48号	宇治田原町国民健康保険条例の一部を改正する条例を制定するについて（法律改正に伴う条例の一部改正）	✓		可決	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○
	議案第49号	宇治田原町水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて（浄化槽整備推進事業の事業区域を追加）			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
決算認定	議案第50号	令和5年度宇治田原町一般会計歳入歳出決算認定について【歳入54億1,936万円 歳出52億3,573万円】	✓	✓	認定	○	○	○	▲	●	○	○	●	○	○
	議案第51号	令和5年度宇治田原町国民健康保険特別会計（事業勘定）歳入歳出決算認定について【歳入10億2,563万円 歳出10億704万円】			認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第52号	令和5年度宇治田原町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について【歳入1億6,130万円 歳出1億5,524万円】	✓		認定	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○
	議案第53号	令和5年度宇治田原町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について【保険事業 歳入8億5,783万円 歳出8億2,694万円】 【サビズ事業 歳入525万円 歳出402万円】			認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第54号	令和5年度宇治田原町水道事業会計決算認定について【収益的 収入2億8,265万円 支出2億8,308万円】 【資本的 収入7,508万円 支出1億566万円】			認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第55号	令和5年度宇治田原町下水道事業会計決算認定について【収益的 収入4億1,714万円 支出4億513万円】 【資本的 収入4億767万円 支出4億9,992万円】			認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第59号	財産の取得について（追認）（令和2年度 小学校教員用指導書及び教科書の取得を追認）			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	議案第60号	財産の取得について（追認）（平成27年度 小学校教員用指導書及び教科書の取得を追認）			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

＊浅田議長は賛否同数以外は表決に加わりません

一般質問

9月5日
9月6日

町政を問う

一般質問とは、議員が行政全般にわたって執行機関である町に対し、事務の執行状況や方針などを質問します。



議会公式
Youtubeチャンネル



	質問者	質問事項
1	山内実貴子（P12）	1. 災害への備え 2. きれいな星空をいかしたまちづくり
2	今西利行（P12）	1. 防災対策 2. やさしい日本語 ＊
3	山本 精（P13）	1. 会計年度任用職員の待遇改善
4	藤本英樹（P13）	1. 便利で快適に過ごせるまち ＊ 2. 大阪・関西万博に向けての取り組み 3. 多文化共生 ＊
5	上野雅央（P14）	1. 空き家対策 ＊ 2. 防災対策

＊印の質問事項は本紙には掲載しておりません。詳しくは録画による動画配信をご覧ください。

傍聴のご案内

宇治田原町議会を傍聴しませんか。傍聴券は本会議・委員会当日に町役場3階議会事務局で発行致します。議会の日程などはホームページ（<http://www.town.ujitawara.kyoto.jp>）をご覧ください。議会事務局（☎88-6641）までお問い合わせください。



議会の日程は
こちらから

体育館に空調設備の設置は 維孝館中学校体育館に設置を検討



やまうち きこ
山内実貴子議員

問 維孝館中学校の体育館は、年間を通して部活動に利用され、避難所指定もされている。体育館の熱中症対策として、空調設備の設置が喫緊の課題では。

答 (町長)

学校生活における熱中症対策および避難所の環境整備は喫緊の課題である。維孝館中学校体育館は、部活動の場でもあり、生徒の利用頻度も高い施設と考える。まずは、維孝館中学校体育館の空調整備について財源も含めて検討したい。

きれいな星空を新たなスポットに

問 本町はどこでも、きれいな星空が見えるスポットである。Instagramうじたわらいくへの投稿・拡散で「星がきれいに見えるまち」を新たなスポットとして知らせ、本町を訪れていただくきっかけにしては。

答 (まちづくり推進課長)

本町の持つ新たな資源としての「星空」を、公式インスタも活用しながら発信し、拡散もいただき、星空で結ばれた町内外の宇治田原ファンを増やしていきたい。



維孝館中学校体育館



いまいしとしゆき
今西利行議員

地震防災マップの更新は 府の見直しを待って改訂する

問 大地震が頻発している。防災マップについて、土砂災害・洪水編は昨年度更新されたが、地震編は14年間も更新されておらず、新庁舎や中央公園、山手線の記載もない。早急な改訂は。

答 (総務理事)

府が、地震防災対策指針などを見直しており、その結果なども参考に、しかるべき時期に改訂する。

問 避難所である体育館への空調設備について、中学校から順次、設置を検討することであるが、有利な補助は活用できるのか。

答 (教育長)

その時々で有利な財源の検討を行っている。中学校についても検討する。

問 災害時、「避難生活で困ったことは」との問いに「トイレ」という回答が多い。広域避難場所となる住民グラウンドのトイレは和式が多く、使用禁止の個室も放置されている。早急に改善しては。

答 (教育長)

住民グラウンドのトイレは古く、傷みが目立つ。計画的に順次検討する。



住民グラウンドのトイレ

会計年度任用職員の待遇改善は 賃金水準は妥当である



やまもと ただし
山本 精議員

問 本年度から会計年度任用職員には期末手当に加え勤勉手当が支給されたが、支給対象となる職員の範囲規定で、国基準に対してどうか。

答 (総務理事)

勤勉手当の支給対象は、期末手当と同様に、任期が6か月以上かつ1週間あたりの勤務時間が23時間15分を超える職員としている。

なお、国家公務員においては、任期が6か月以上かつ1週間あたりの勤務時間が15時間30分以上の会計年度任用職員が勤勉手当の支給対象である

と認識している。

問 本町も国家公務員の基準と同じ週15時間30分以上勤務する会計年度任用職員に勤勉手当を支給すべきだと考える。

会計年度任用職員の賃金は低賃金になっているのではないのか。そういう点から、待遇改善が必要では。

答 (総務理事)

本町としては、職務内容および職責に応じた給与水準であると考えている。



会計年度任用職員が多い施設の例

大阪・関西万博への取り組みは 西ノ山広場でのイベントを計画



ふじもとひでき
藤本英樹議員

問 国内外から多くの方が関西に来られる大阪・関西万博は、本町にとっても絶好のPRの機会だと考えるが、取り組みは。

答 (副町長)

「日本緑茶発祥の地」として、西ノ山展望広場でのイベント提案、万博会場内の京都ブースへの出展申請などを行っている。

問 大阪・関西万博に併せて、けいはんな学研都市でも、けいはんな万博2025としてさまざまな取り組みが計画されている。

町長は、府の基本構想の策定に係る検討会の委員を務めているが、大阪・関西万博への思いは。

答 (町長)

基本構想の中では、府全域のさらなる活性化に繋げていくとうたわれており、「日本緑茶発祥の地」お茶のふるさと宇治田原を国内外にPRをする絶好の機会と考えている。

大阪・関西万博、けいはんな万博に来られた方に、是非とも本町まで足を延ばしていただき、美味しいお茶を味わってもらいたいと考えている。



西ノ山展望広場

災害時でのトイレ環境の整備は

簡易トイレを備蓄する

問 災害が発生したときに「困ること」として言われているのが、電気や水道、通信などのライフラインの停止である。能登半島地震では、上下水道が使用できない地域で、トイレが深刻な問題となった。本町における簡易トイレの配備状況と今後の見通しは。

答 (町長)

水が使えない状況下でも対応できるよう、住民体育館をはじめ小中学校、奥山田ふれあい交流館などの避難所に、簡易ボックストイレを各10個、宇治田原中央公園には非常用携帯

トイレを1500個備蓄している。さらに、日本赤十字社と協定を締結して、宇治田原中央公園に日赤防災倉庫を設置し、非常用携帯トイレを2000個備蓄した。また、各地域の自主防災組織においても町の補助金を活用し、各公民館などに簡易トイレを備蓄する動きが広がっている。自助・共助・公助が連携する中で、災害対策を強化していくことが重要である。備蓄物資の情報提供をはじめ計画的な備蓄を進めていく。



うえの まさお
上野雅央議員



日赤防災倉庫内の備蓄品

先進的な取り組みの情報発信は

教育活動の魅力を情報発信する

問 住民が愛着を持ち、ずっと暮らしたきたいという思いが持てるような施策、町から転出されないという視点が大切である。次期総合計画では、どのようなことを重点化して取り組むのか。

答 (総務政策監)

安心して子どもを産み育てる環境を整える戦略、新しい人の流れを生み出し、まちの活力をアップする戦略、ずっと住み続けたいまちづくりの3つを重点化する方向で「もっと ずっと 宇治田原」を掲げている。

問 全ての小学校で5・6年生の英語

において専科教員による教科担任制の導入や「寺子屋うじたわら学び塾」など、先進的な取り組みを、子育て世代に利用者の多いSNSツールを活用して発信するなど、戦略的に取り組めないか。

答 (教育長)

Instagramの公式アカウント「うじたわらいく」を活用して、情報発信を前向きに検討するとともに、広報紙「町民の窓」での情報発信の強化も進めたい。デジタル、アナログ双方の利点を生かし、多くの方に本町の教育活動の魅力を情報発信したい。



う さ み
宇佐美まり議員



わくわく英語の様子

マイナ保険証への不安解消は

不安払拭を図っていく

問 今現在使用されている国保の被保険者証は、本年12月2日以降新規発行されず「マイナ保険証による受診」との情報がある。マイナ保険証を持たない人は受診できないのかと不安の声もあるが。

答 (健康対策課長)

現在使用中の被保険者証は令和7年12月1日が有効期間なので、それまで使用可能である。期限切れ以降、マイナ保険証未登録の方には申請を求めず、プッシュ型にて資格確認書を送付予定である。

問 不安払拭に向けた広報活動計画は。

答 (町長)

10月に全対象者に「加入者情報のお知らせ」を一斉送付する。あわせてマイナ保険証の周知啓発を行う。

災害時の協力井戸の管理は

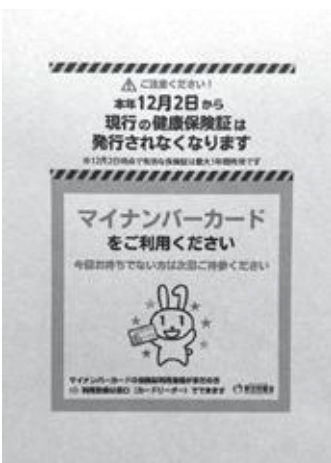
問 協力井戸の登録制度開始から11年経過した。登録戸数の変動有無は。

答 (総務理事)

協力井戸の登録件数は現在35戸ある。水が枯渇しているものや管理不十分なものなどの管理作業を進めていく。



えの き のりみち
榎木憲法議員



厚労省発行のチラシ

AI を本格的に取り入れては

段階的に利用を拡大したい

問 業務効率化や生産性向上を目的に、出来る事から本格的にAI*を日常業務に取り入れては。

答 (企画財政課長)

AIは業務効率化や生産性向上の面で大きな可能性を秘めていると認識している。今年度から負担軽減のため、議事録作成や文書要約といった事務への活用をスタートした。検証などを行いながら、AI活用の業務を段階的に拡大したい。

問 AIに対してさまざまな声はあるが、単純作業をAIで置き換えるだけ

でなく、企画や議案作成の補助のようにクリエイティブな分野でも使用しては。

答 (企画財政課長)

生成AIは誤った情報などが作成されるリスクがあるため、本町では、「生成AI業務利用ガイドライン」を定める中、現在は業務における素案作成の参考資料にとどめている。しかし、今後は研修などを行い、アイデア出しや文書作成といったクリエイティブな領域への利用を進めていきたい。



もりやまたかひろ
森山高広議員



代表的なAIアプリ、ChatGPTにAIについて質問した例

*AI(人工知能 Artificial Intelligence)とは、人間の知能を模倣する技術やシステムのこと

「終活」を考える機運の醸成は 幅広い世代に知らせていく



ばんば はじめ
馬場 哉議員



終活カードゲーム

問 5月に実践型「終活」講座が実施された。老後の生活や自身の死に備えるために行う一連の準備や計画である終活は、人生の終盤において自身の希望や価値観を再確認する機会である。幅広い世代の方々に、この考えをどのように醸成していくのか。

答 (福祉課長)
指摘のとおり終活は、高齢者だけが取り組むものではない。今後の人生について、家族や親族の方をふくめ、気軽に話すことができる機運の醸成に、努めていきたい。

問 核家族化や独居高齢者の方が増加する中で、高齢者の方が自らの人生の終幕について誰に相談したらよいか分からない不安がある。行政として終活に関係する機関との連携を模索していくべきでは。

答 (福祉課長)
身寄りがおられない方、親族と疎遠になり、終活の手続きを託せる方が無事例は日本各地で問題となっているが、本町も無縁ではない。創意工夫をして取り組んでいる自治体もあるので、それらを研究したい。

高齢の交通弱者について配慮は 講座の時間を変更するなど改善

問 社会教育は生涯学習の一環であり、大変広範である。町長部局でも担う部分の整理をし、各部署との連携を取ることが必要だと考える。営利が目的でない活動や、住民が行う生涯活動にはもっと支援が必要では。

答 (社会教育課長)
「知りたい」「学びたい」という思いを支援するため、「まちづくり出前講座」として、各種メニューを揃え、7分野36テーマを提供しており、さらに充実させたい。

問 町民の窓9月号でことぶき大学の

講座開催の案内があった。今年度の大学は、登録などの募集も送迎もない。交通弱者についての考えは。

答 (教育長)
昨年往復はがきによる登録制にしたが参加がない。送迎についても登録はあるが、利用がない状況である。公共交通利用の大切さを講座でも取り上げており、従来の送迎車を廃止し、公共交通を利用しやすい時間帯に講座の時間を変更するなど改善した。足を運びたくなるような、魅力あるプログラム作りと生涯学習推進に努力したい。



維中前バス停から文化センターへの道



はら だしゅういち
原田周一議員

総務建設常任委員会

7月16日、各課の第2四半期の事業執行状況と報告事項が3件あった。主な質疑は次の通り。

〈事業執行状況〉

総務課

消防指令センターの広域化の影響は

問 京都府南部消防指令センターが広域化され、土地勘がない状態でスムーズに運用ができるのか。

答 広域化にかかわらず屋外で、付近に目印となるものが何もない場合、場所を特定しにくいことが発生するが、指令センターにしっかりと対応していただくようお願いしたい。

自転車用ヘルメットの申請数は

問 自転車乗車用ヘルメットの交付申請件数は。

答 現在、11件の申請があり、すでに交付した。

建設環境課

耐震改修事業の申請は

問 木造住宅耐震改修事業の申請は。

答 6月末現在、診断3件、その他の相談1件、耐震改修(簡易改修)1件を受け付けている。



耐震改修事業のパンフレット

まちづくり推進課

空家バンクの登録の状況は

問 空家バンクの登録件数は。

答 登録空家は1件。

問 移住希望者数は。

答 空家バンクに登録されている移住希望者は、約40名である。

産業観光課

猿の発信機は

問 猿に取り付けた発信機が外れ、行動が把握できない現状は。また、今後の追い払いは。

答 現在、猿追い払い隊による目視確認、住民からの通報で対応している。今後、冬の寒い時期に取り付けられるよう調整している。

〈報告事項〉

総務課

・日本語教室開設に向けたボランティア養成講座

企画財政課

・入札監視等委員会(令和6年度第1回)議事概要

税住民課

・町民税(個人)の賦課状況の推移

文教厚生常任委員会

7月17日、各課の第2四半期の事業執行状況と報告事項が1件あった。主な質疑は次の通り。

〈事業執行状況〉

学校教育課

先端プログラミング教室での時間配慮は

問 先端プログラミング事業を視察したが、座学のみで実演を視察できず。視察時間の配慮できないか。

答 来年度視察の要望があれば検討する。



先端プログラミング教室

〈報告事項〉

社会教育課

・令和5年度宇治田原町総合文化センター等の利用状況

インタビュー

地域おこし協力隊

ひろ た あき
広田 華 さん

9月1日より、宇治田原町に地域おこし協力隊として
 赴任された、広田 華さんにインタビューしました



Q. 簡単に自己紹介を

A. 神戸市出身、関西の芸能事務所に所属の俳優です。宇治田原町(以下、本町)の古民家に娘と暮らし始めました。

Q. 本町の地域おこし協力隊になられたきっかけは

A. 知人に誘われて長野県売木村へ行き、そこで始めて地域おこし協力隊として任務につきました。途中、コロナの影響もありましたが、負けずに奮闘し、次の新たな活動の場をと考えていたとき、人と人とのつながりで、本町へ来ることになりました。

Q. 本町の印象は

A. 自然が豊かで、山々に囲まれています、スーパーマーケットも近くにあり、快適に過ごしています。文化財も豊富にあり、魅力的な町です。とにかく人が親切で温かいです。

Q. 本町でチャレンジしたいことは

A. これまでに培った南信州とのつながりを活かした活気づくりを考えています。お茶や柿、平家由来の歴史など、共通点のある南信州と交流ができればと思います。

Q. 退任後の目標は

A. カフェや民泊もしていましたので、本町の古民家にて、できればと思っています。これまで取り組んできた自家製ジンジャーエールの製造販売を、ぜひ本町産の無農薬生姜で挑戦してみたいです。

Q. 俳優、演劇にける思いは

A. 海外で行われているドラマ教育を取り入れ、演じること、自己表現することを楽しく体験できる場として、宇治田原演劇部のようなことができればと思っています。



カフェでの語り

広報編集委員会

8月6日、京都府町村議会広報編集正副委員長研修会があり、正副委員長の2名が出席した。

今回の研修は、未来交創株式会社代表取締役の前田安正氏による講演で、「情報としての言葉を伝える～住民読者の視点に立った広報を目指して～」がテーマであった。



研修風景(京都府自治会館ホール)

今回の講演は、文章への向き合い方が中心であったが、ChatGTPを使った文章例や要約例、良い文章の書き方、メディアの意味と歴史、文と文章の構造など幅広いトピックをカバーした内容であった。後半では、各町村の議会だよりへのクリニックがあった。

本町の議会だよりへの主な指摘は次の通り。

- ①横書きへの移行とレイアウトの改良により、かなり読みやすくなった。今後、余白をより使えるとさらに良くなる。
- ②インタビュー記事では、一般的なことなく、対象人物から、その人にしかないものを引き出した構成にすること。

今後、この二点を改良し、議会だよりをさらに良くしていく予定です。

まちかど点景 (拡大版)



消防団総合訓練「小型ポンプ操法」



子育て支援センターの夏まつり



今日は神幸祭



ねりこみ囃子（奥山田）



がんばれ1等賞（保育所運動会）

次回議会の予定
〈12月定例会〉
12月3日 火 開会日
詳しい予定はHPにて
お知らせします。

編集後記

記録的な暑さから秋の到来が遅くなり、長期間の熱中症対策に加えて、地震・台風など災害への備えも改めて考えさせられました。能登半島をはじめ被災された地域の方々にお見舞い申し上げます。

さて、今回の発行が現広報編集委員会のメンバーで最終となりました。引き続き、住民の皆さんのご意見もいただきながら、読みやすくわかりやすい紙面づくりに努めてまいります。

広報編集副委員長 上野

